年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　工業　　科目 自動車製図

教　科：　工業　　科　目：　自動車製図　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　2 組～　　組

教科担当者：

使用教科書：（ 機械製図（実教出版）　　）

教科　工業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　自動車製図　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種機械や部品の制作に使用される埋めんなどの作成に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、各種機械や部品の制作に使用される図面等の役割や作図法、図面などを正しく読み、作成できる力を身に付けている。	各種機械や部品の制作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析）し、考察を深めるとともに、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身に付けている。	各種機械や各部の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心をもち、機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	製図の基礎知識を修得させる	・基礎製図検定問題集の各基礎的事項 ・立体図（等角図）、投影図、断面図、補助投影図、展開図	【知識・技能】 立体図（等角図）、投影図、断面図、補助投影図、展開図を理解することができる。 【思考・判断・表現】 立体図（等角図）、投影図、断面図、補助投影図、展開図正しく表せているかを自ら判断できる。【主体的に学習に取り組む態度】 立体図（等角図）、投影図、断面図、補助投影図、展開図に興味を持ち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	製作図における基礎である数字、アルファベットおよび直線の書き方を修得させる。	・基礎製図練習ノートの数字の項 ・基礎製図練習ノートのアルファベットの項 ・基礎製図練習ノートの直線および弧の項	【知識・技能】 基礎製図練習ノートの見本通りに数字とアルファベットを正確に書くことができる。 【思考・判断・表現】 線を正しく表せているかを自ら判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎製図練習ノートの内容に興味を持ち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2学期	**製作図における基礎であるドラフターの使用方法を通じて支持台の製作図の作成をして、製作図において必要な知識と技術を身に付けさせる。**	**・ドラフターの基本的な使用方法 ・線の正しい使用方法 ・製図用具の正しい使用方法**	**【知識・技能】 下書き線の使用方法を理解していて、実際に使用している。 【思考・判断・表現】 線を正しく表せているかを自ら判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製作図を読み取る力の向上を目指し、自ら学ぼうとしている。**	**○**	**○**	**○**	**6**
	軸受ふたの製作図の作成を通じて、製作図において必要な知識と技術を身に付けさせる。	・製作図における断面図の表し方 ・製作図における円の表し方	【知識・技能】 製図用コンパスの使用方法を理解している。 【思考・判断・表現】 線を正しく表せているかを自ら判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製作図を読み取る力の向上を目指し、自ら学ぼうとしている。	○	○	○	12
	軸受の製作図の作成を通じて、製作図において必要な知識と技術を身に付けさせる。	・製作図における用語の種類 ・製作図における用語の意味 ・日本産業規格（ＪＩＳ）	【知識・技能】 日本産業規格ＪＩＳの使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 線を正しく表せているかを自ら判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製作図を読み取る力の向上を目指し、自ら学ぼうとしている。	○	○	○	10
3学期	軸受の製作図の作成を通じて、製作図において必要な知識と技術を身に付けさせる。	・製作図における用語の種類 ・製作図における用語の意味 ・日本産業規格（ＪＩＳ）	【知識・技能】 日本産業規格ＪＩＳの使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 線を正しく表せているかを自ら判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製作図を読み取る力の向上を目指し、自ら学ぼうとしている。	○	○	○	4
	ボルト・ナットの製作図の作成を通じて、製作図において必要な知識と技術を身に付けさせる。	・多角形の書き方 ・引出線の表し方	【知識・技能】 図面等の役割や作図法、図面などを正しく読み、作成できる力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 線を正しく表せているかを自ら判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製作図を読み取る力の向上を目指し、自ら学ぼうとしている。	○	○	○	14 合計 70